

公益財団法人東海交通遺児を励ます会 会報

# はばたけ

～希望と勇気と自立～

- 会の目的 交通遺児の自立を支援します。
- 会の事業 目的に沿って、次のような年間行事を計画しております。
- \* 3月 中学を卒業する交通遺児を励ます集い  
卒業生の門出を、保護者と共に祝います  
中学卒業祝い15万円を卒業生に贈呈
  - \* 8月 サマーキャンプ
  - \* 12月 交通遺児を励ます大会 交通遺児及び保護者が支援者、寄付者と共に集います  
来春小学校に入学する児童に入学祝い10万円を贈呈
  - \* 保護者懇親会 (子ども同伴可)  
保護者が抱える問題を共に語り合います。
  - \* 「親子旅行」を年数回
  - \* 随時 支援者からの招待行事、催しに参加
  - \* 2月、6月、10月 会報「はばたけ」年3回発行



新しい世界でチャレンジしてみたいです

第52回中学を卒業する交通遺児を励ます集い

令和6年3月17日  
サイプレスガーデンホテル

励ますす会、一番の思い出は、琵琶湖のカヌーでした。僕は弟と一緒に行ったけど、妹は年齢でいけません。その後は新型コロナウイルスによってなくなってしまう。コロナが落ちてきたので妹のためにも復活してほしいです。他にもグランピングやジャパニーズ、ユニバーサルスタジアムなど、色々な所に行けて、楽しかったです。

最後に、ここまで育ててくれたお母さん、いつもありがとうございます。そして励ますす会の皆様、本当にありがとうございました。

高校生活も自分なりに頑張っていきたいです。

励ますす会に出会ってから、同じ境遇の友達もできました。僕は同じ境遇の人たちがこんなにもいるとは思いませんでした。

励ますす会、一番の思い出は、琵琶湖のカヌーでした。僕は弟と一緒に行ったけど、妹は年齢でいけません。その後は新型コロナウイルスによってなくなってしまう。コロナが落ちてきたので妹のためにも復活してほしいです。他にもグランピングやジャパニーズ、ユニバーサルスタジアムなど、色々な所に行けて、楽しかったです。

最後に、ここまで育ててくれたお母さん、いつもありがとうございます。そして励ますす会の皆様、本当にありがとうございました。

高校生活も自分なりに頑張っていきたいです。

事故現場に行ったときはお父さんの車が潰れていて、僕はびっくりしました。

お父さんが亡くなってからは、お母さんが朝から晩までずっと働いてくれました。そして僕たち兄弟をいろいろなところに連れてってくれました。周りの友達は、運動会や学芸会にお父さんが来ていていいな、と思うこともあったけど、お母さんがいつも一生懸命に来てくれて居たのを覚えています。お母さんのお陰で何一つ不自由なく過ごせました。

励ますす会に出会ってから、同じ境遇の友達もできました。僕は同じ境遇の人たちがこんなにもいるとは思いませんでした。

励ますす会、一番の思い出は、琵琶湖のカヌーでした。僕は弟と一緒に行ったけど、妹は年齢でいけません。その後は新型コロナウイルスによってなくなってしまう。コロナが落ちてきたので妹のためにも復活してほしいです。他にもグランピングやジャパニーズ、ユニバーサルスタジアムなど、色々な所に行けて、楽しかったです。

最後に、ここまで育ててくれたお母さん、いつもありがとうございます。そして励ますす会の皆様、本当にありがとうございました。

高校生活も自分なりに頑張っていきたいです。



感謝

上野夏樹

僕のお父さんは約12年前に亡くなりました。当時僕は3歳の誕生日を迎える10日前でした。うっすら覚えているのは保育園の帰りでいつもは家に帰るのに、病院に行ったときは、何で病院に行くのかなあと、思いました。亡くなっているお父さんを見て「何で父さん寝ているのかなあ」と思っていました。ただ、お母さんに最後だからお別れしなさい！と言われ触るのが怖いと子供ながらに思ったことを覚えていきます。

多くの障壁を乗り越え、今日のよき日を迎えられた卒業生の皆さんに、私から伝えたい言葉は「出会いを大切に」ということです。

これからそれぞれの道を進んでいく皆さんには、数多くの出会いが待っています。先生やクラスメイト、仕事の関係者など、立場も年齢も様々な人たちとの出会いがあります。

出会うのは人とは限らず、音楽や絵画、映画や小説などの作品かもしれません。ある曲のメロディや歌詞のワンフレーズが聴く人の気持ちを奮い立たせ、大きな力を与えてくれることがありますし、一本の映画との出会いが観る人の価値観を変えたり、視野を広げてくれたりすることもあります。

そんな出会いの一つ一つを大切に、心身ともに大きな人になってほしいです。

素敵な出会いが多い中、時には自分にとつてよくない出会いがあるかもしれません。悲しい思いをすることもあろうでしょう。しかし、その経験はよい出会いと同じくらい、自分自身の成長につ

ながっていくのです。様々な経験を通して、次々のように行動するとよいのか、どのように解決するとよいかなど、自分を守る術を手に入れることができるのです。

皆さんが出会う全てのことは決して無駄にはなりません。これからの出会いを大切に、自分の力に変え、前に進んでいける人になってほしいと願っています。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、御尽力されました「励まし会」の関係者の方々に敬意を表しますとともに、御支援を賜りました皆様にご心から感謝申し上げます。私からの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

祝い申し上げます。

旅立ちと新しい出会いの前にはいる皆さんに、アメリカの文化人類学者であるマーガレットさんが残した、そして私自身も大切にしている「未来とは今である」という言葉についてお話をします。

皆さん「未来」という漢字を思い浮かべてみてください。「未だ来ていない」と書きまますよね。未だ来ていない時間のことを思うとき、皆さんの心に浮かぶのは不安でしょうか。それとも

希望でしょうか。4月になれば、皆さんは新たな生活が始まりますが、どのような生活を送られるかはまだ何も決まっていません。何も決まっていなくても、未来のことを思うとき、人は不安と希望、どちらも感じるのでしよう。

ただ一つ、確かなことがあります。それはどのような未来も「今」とつながっているということです。未来とは今を積み重ねることで訪れる時間です。ですから、今を少し変えるだけで、未来も大きく変わるかもしれません。未来のために今がいかにか大切にしてください。

この先、思いどおりにいかないこともあると思います。そのようなときこそ、簡単に諦めたり投げ出したりせず、未来につながる今の時を大切にしよう。皆さん一人ひとりの未来が素晴らしいものとなることを心から願います。「未来とは今である」とこの言葉を皆さんに送りたいと思います。

最後になりましたが、さまざまな困難を乗り越えこままでお子さまを慈しみ立派に育てていらつしやうた保護者の皆様には、心より敬意をお伝えし私のお祝いの言葉とさせていただきます。



名古屋教育委員会 指導部長 一ノ瀬 喜崇様

長く厳しかった寒さも緩み、開花を待つ桜のつぼみの息吹を感じるこの頃、皆さんは卒業の時を迎えられました。心よりお

講話

松尾 隆徳 評議員

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました、評議員を務めております松尾隆徳でございます。私は、昭和18年生まれでこの3月でちょうど81歳

になりました。自分の中学卒業のことを思い出しますと15歳です。今からもう60数年前のことなのだ。思いながら、そのときのことをいろいろ思い出し、お父様が交通事故に遭われ大変な困難に見舞われ、天地のひっくり返るような苦労をされて、今日に至るまで大変な努力とその困難に打ち勝ってこられたとても立派な皆さんだと私は思います。普通なら、打ちひしがれてしまつて砕けてしまつたところを皆さんは、お母さんの応援、友達の応援、学校の先生の応援、周りのいろいろな支援を頂きながら、自分の意思と力で今日まで歩んでこれた中学を卒業します。

そして新たなステージ、高校に進みます。あるいは社会に出ます。その今日に至るまでの大変な努力に、私はあらためて凄いなことだと思ひ感謝する次第でございます。

人間は誰でも本質的に、しっかりと潜在意識として心の中に「良くなるう」とする力があります。

ただ、潜在意識ということでは普段は蓋が被さってしまつて、あまりそれが外に出ていません。意識をしてその蓋を取り払うと、中にある潜在意識から「頑張りましょう、前へ進みましょう」と意欲が出てくるわけです。その入り口は、先程いろいろのお話がございましたように、皆さんが周りから「○○ちゃん、こうしなさい」と言われてからその気になるのではなく、自らの意思で希望を持ち挑戦することだと思ふのです。そのような意味では、皆さんはすでに、中学を卒業するまでの間「お母さんに心配をかけてはいけない。お母さんを喜ばせなければいけない。天国のお父さんにも、自分の頑張つてい

会長挨拶



会長 吉野 雅山

皆さん、おはようございます。

本日の「中学を卒業する交通遺児を励ます集い」関係者の皆様はじめ大勢の皆様にご出席をいただき、開催できますことを厚く御礼申し上げます。

また、ご来賓としてこの後皆さんに励ましのお言葉を頂きます愛知県教育委員会の野田先生、名古屋市教育委員会の一ノ瀬先生、そして、皆さんに記念品を贈呈いただきます中日新聞社会事業団の林様、お忙しい中ご臨席賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、皆さんの中学校生活3年間は「コロナで始まりコロナで終わられた」のではないのでしょうか。

卒業式のシーズンには、コロナの分類も変わって、おそらく皆さんの卒業式も今日と同じように、先生方や友達と普通に別れを惜しむ式ができたのではないかと思います。3年前の入学式ではどうだったでしょうか。

きっと、体育祭、社会見学、文化祭など学校のさまざまな行事や皆さんの中学校生活そのものが制約された3年間を過ごしてこられたと思います。

幸いなことに、今日は当会も4年ぶりに通常の励ます集いを開催することができました。

また、第二部では、役員の皆様を交えてテーブルマナーを学びながらお母様と一緒に楽しいひと時を過ごしていただければと思っております。

私からは、今、大変話題が多い大リーグの大谷選手にまつわるお話をさせていただきます。

皆さんにお渡しした大谷選手のチャート紙ですが、それは彼が花巻東高等学校の1年生のときに作った目標で『マンダラチャート』というそうです。彼はその中央に「3年後、プロ野球のドラフト会議で8チームから1位の指名を受ける」という壮大な目標を掲げて高校生活をスタートしました。中央の左上から順次に重要なことが書いてあり、彼はその9マス×9マスの中に日々やらなければいけないことを埋め込んで目標を明確にして、さらに、2年生のときには2年生の目標、3年生のときには3年生の目標を掲げたのです。今、彼の代名詞である「二刀流」は3年生の目標で出てくるそうです。

皆さんは、今からしばらく春休みに入りますが、それは新しい生活に入る前の準備期間です。

大谷選手のようにとは言いませんが、まず「こうなりたい、ああなりたい、こんなふうになりたい」といった大きな目標を掲げ、それぞれ皆さんが持つておられる夢を実現させるためにどうすべきか、ぜひともマスに書いていただきたいと思います。81マスすべてを埋めることはなかなか難しいかもしれませんが新しい生活への準備として、できれば春休みの間に3分の1ぐらいは埋めていただければと思います。

私の好きな言葉に「心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。行動が変われば、性格が変わる。性格が変われば、人格が変わる。人格が変われば、人生が変わる。人生が変われば、運命が変わる。」があります。全部を覚えなくて構いませんので、1つ目の「心が変われば、態度が変わる」を覚えておいてください。ぜひとも習慣づけるために、心を変えることを頭の隅に残してこの励ます集いを終えていただければと思います。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

子ども達は、成長と同時に、さも親を必要としないかのように立ち居振る舞うものです。それは子ども達の自立であり、成長だと思えます。しかし、子ども達もいつも順風満帆にはまいません。困ったことなど、いろいろな出来事に出会うと思います。その都度、いつもお母さんの懐に戻ってきて、相談できたり、愚痴が言えたりするご家庭をお作りいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日のこの会で作文を読んでもらう上野くん、よろしくお祈りします。また、皆さんにご講話いただきます松尾さん、よろしくお祈り申し上げます。

それでは、わずかな時間ですが、皆様方に楽しんでいただけるような会になりますことをお願い申し上げます。私から皆さんへの卒業のお祝いの言葉とさせていただきます。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
野球	ソフトボール	野球							
バスケットボール									
サッカー									
テニス									
卓球									
水泳									
ダンス									
吹奏楽									
合唱									
英語									
数学									
国語									
理科									
社会									
保健体育									
芸術									
総合									
外国語									
職業									
キャリア									
情報									
英語									
数学									
国語									
理科									
社会									
保健体育									
芸術									
総合									
外国語									
職業									
キャリア									
情報									

「マンダラチャート」

る姿を見て喜んでいただけるように頑張ろう。今度のお盆のときには、天国のお父さんに「僕、こんなに元気だよ。こんなにも明るく皆と元気でやっていますよ」という報告をしよう」と、自らの意思で過ごし今日に至っていると思います。

先程来もお話がございましたが「希望」は心の太陽です。明るい気持ちを保持して励んでいただければと思います。すべからず、心が先行します。心が病む、または弱ってしまおうと、やはり体も弱ってしまおうと、いろいろな病気に陥りがちです。まずは心を「グツ」と持っていただきたいと思います。そのためには、くよくよせず、マイナスのことは考えないことです。失敗することは考えずに、楽天的に明るく前を向いて成功すること、希望が達成できること、完成した喜びを自分の頭の中で描いて毎日愉快に過ごしていただきたいと思います。

朝が肝心です。朝起きたときに、お子さんは「お母さん、おはようございます。今日も頑張るね。昨日はありがとう」と挨拶し、お母さんはお子さんに「〇〇ちゃん、おはよう。きちんと起きたね。良かったね。今日も元気でいこうね。お母さんも頑張るわよ」と挨拶します。ニコニコした明るい挨拶から1日が始まるわけです。皆様、まずはご家庭で、笑顔絶やさないようになさってください。それを見ていただければ、良いかと思えます。皆さんは朝顔を洗って歯を磨くとき、前に鏡があると思うので、鏡に向かってニコニコと笑いながら歯を磨いてください。うがいをして口の中をきれいにしたら、あらためて鏡に向かって「アッハッハッハ」と自分で笑って気持ちを高揚させるの

ご来賓の皆様方、今日まで、いろいろと学校等でご指導いただきましてありがとうございます。またいろいろとお世話になることもあるかと存じますが、この先、名古屋、あるいは日本の社会で新しい世界をつくる担い手となり励んでいくと思えますので、引き続きよろしく願います。それでは、皆さん、頑張ってください。ありがとうございます。



愛知県知事 大村 秀章様

卒業生御一同様  
中学御卒業おめでとうございます。思い出と自信を胸に、皆様がさらに飛躍され、今後一層御活躍されますよう御期待申し上げます。

岐阜県知事 古田 肇様

本日の集いの開催を祝し、心よりお慶び申し上げます。卒業生御一同様、卒業生御一同様、ご卒業おめでとうございます。また、皆さんを見守ってこられたご家族の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

新たな世界への晴れやかな船出にあたり、皆さんのますますのご活躍と、人生の大海原が希望と輝きに満ちたものとなりますことを、心よりお祈りいたします。

岐阜県におきましても、皆さんの大切な命を守るべく、交通事故の無い、

です。そして続けていくと、何事も明るく取り組めるようになります。そうすれば、すべからずプラス思考になって良いことがどんどん身に付いてまいりますので、ぜひ挑戦してみてください。

そうは言うものの、やはり自分一人ではなかなか生活をしていきけません。周りの人からいろいろ助けられます。私は、目の前にいらっしやる方々の力と同時に、目に見えないところからも大きな力でもって支えられている、助けられていると思えます。これが現実にはあります。

言い換えれば、天国のお父さんが、皆さんをしつかりと見守り続け、朝から「頑張れよ」という電波を皆さんへどんどん送っていらっしやるのです。皆さんはその電波を受け取る時は、ぜひ「お父さんいつもありがとう。お父さんがいなくなつて寂しいけれど、お父さんのおかげで僕は今日も元気に過ごせます。中学を卒業しました。今度は高校に行きます。これも、今は亡きお父さんが僕を生んでくれたからです。お父さんのおかげで今の僕があります。ありがとうございます」と思っています。

その思いを持つと、底知れない大きな力があなたの方を後ろから前から支え、応援してくるようになります。目に見えない力です。これは俗に言う信奉ということにもつながります。自分の力は高が知れているけれども、努力はしなければいけません。自分の努力をより大きなものにするのは、目に見えない周りの大きな力のおかげです。特に天国のお父さん、あるいは小さいときに皆さんの面倒をいろいろ見ていてくれたおじいちゃんやおばあ

安全で安心な地域づくりを目指し、努力を重ねてまいります。

三重県知事 一見 勝之様

卒業生のみなさん  
ご卒業おめでとうございます。学び舎を巣立つみなさんが、豊かで実りある未来を拓かれることを、心より祈念いたします。三重県としても、交通事故のない安全で安心なまちづくりに向けて、引き続き県民一丸となり、交通安全対策を推進してまいります。

名古屋市長 河村 たかし様

中学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。新たな門出を心よりお祝い申し上げます。皆さんが輝かしい未来に向かって歩み続け、今後一層ご活躍されることを期待しています。

岐阜県教育委員会 学校安全課長 酒井 猛様

ご卒業おめでとうございます。中学校を卒業され、新たな門出を迎えるみなさんに、お祝いの言葉を贈ります。みなさんは、「奇跡のバックホーム」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。阪神タイガース18年ぶり優勝の2023年、28歳で生涯を終えた横田慎太郎さんのプレーのことです。優勝の歓喜のなか、横田さんの「背番号24」のユニフォームも宙を舞いまし

ちゃん、しつかりと見守りながら大きな力を授けてくれるのです。「ありがとうございます」という感謝の気持ちが皆さんのあらゆる事柄を成し遂げていく最大の牽引力、迫力になってまいります。ぜひ、そういった思いで頑張ってください。

同時に、学校の先生への恩、あるいは社会への恩や地域への恩など、いろいろございます。昔から「弟子が芯から素直な気持ちで先生に従えば、先生は惜しむことなく、弟子に対して自分の持っているすべてのものを与える」と言われています。ここに師弟関係の素晴らしさが生まれるわけですが、皆さんも今まで学校においては随分先生にいろいろ教えていただいて、生活の道も導いていただいたと思います。ぜひ、先生に「先生、ありがとう」と伝えてください。私は、先生への恩を表す一番良い方法は、年一回でいいので年賀状を書くことだと思います。今、世の中の一部の人は、虚礼廃止、あるいは省資源だからと「年賀状をやめましょう」と言われていますが、私はおかしな事だと思います。下手な字でもいいので「先生のおかげで今度は2年生になりました。3年生になります。こんなに頑張っております」と先生への感謝の気持ちを年賀状に書いてください。

あるいは暑中見舞いでも構いません。それを重ねることによって、あなた方一人ひとりの人間の厚みが出てきて今度は反対に、周りの人たちが皆さんの後輩が皆さんを尊敬し支えてくれるといった関係になってまいります。ぜひ、そのような思いをしつかりと持つて、感謝の生活を送っていただけたらと思います。

最後に、冒頭で少しお話ししましたが、まだまだこれからどんどんいろいろな世界がぼやけるなか引退試合で見たセンターからのホームへの送球は「奇跡のバックホーム」と呼ばれ、多くの人の感動をもたらしました。

横田さんは、プロ野球選手3年目に開幕スタメンを勝ち取りましたが、翌年原因不明の頭痛とボールがぼやけて見えるという症状に襲われました。医師からも「野球のことはいつたん忘れてください」と言われ、過酷な闘病生活とともに引退することになります。

そんな横田さんは、「人々に希望を与えたい」「経験を伝え、悩み苦しむ人の力になりたい」と願い、自分の半生をつづった本を出版したり、自らの経験を動画配信で伝えたりする活動を行いました。引退後の入院生活では、苦しい闘病生活に目標を見失いそうにもなったそうですが、「自分が病気に打ち勝つて、悩み苦しんでいる人の励みになる」という目標をもって病と闘いました。そんな思いや体験が横田さんの著書「奇跡のバックホーム」に記されています。

横田さんは、生前「苦しい思いをしている人、目標がない人、たくさんの人に読んでもらって、希望を持ってほしい」「小さな目標でもいい。目標があれば、最後には必ず幸せな日が来る」と話しています。「目標」や「希望」があることが、生きる上でいかに大切で尊いことを教えてくれます。絶望を感じた横田さんだからこそそんな当たり前のことが強く伝わってきます。みなさんもこれからの人生の中で、うまくいかないことが必ずあると思いますが、そんな時でも目標や希望をもって生活できるよう努力してみてください。横田さんのように、自分が懸

るな苦しいことは降ってまいりましょう。しかし、自分に解決ができないような苦難は絶対に来ません。必ず自分で解決ができる苦難が来ます。「大変だ、困った」と逃げに入ってしまうと苦難に押し潰されてしまうのでそうは思わず、反対に「今、僕を試してくれる困難が来た。よし、正面からぶつかってやってみよう。僕は絶対できる。今は亡きお父さん、お母さんの子どもなよう。お母さんを喜ばせよう」という思いでいてください。苦難というのは、「おいおい、少し間違っているぞ。そこが間違っているから直さないといけないぞ」という気づきを起こさせるために出てきます。自分の生活で少しわがままだったり、横道に逸れたりした状態のときに、天国のお父さんが「おいおい、そんなことではいけないぞ」と苦難を与えるのです。苦難が起こったらそのように思って「自分が何か間違っているというシグナルなのだ。自分のわがままを取り下げなければいけない」と思い込んでいただければ、これからの皆さんの人生は、素晴らしい未来が開けてまいります。

世間もそのような皆さんには応援するようにしております。皆さん、どんどん挑戦され「自らの力で新しい生活、社会を作り上げていく」という気持ちで前に進めば、それに賛同する周りの皆様方もどんどんと応援をしてくれます。まずは大谷選手のごとく、自ら取りに行くという努力をしましう。その努力を周りの方が認めて、さらなる声援、応援につながります。このよう前向きなプラス生活、人生を、これから送ってください。中学卒業にあたって、心に留めていただければ有難いことです。

命に取り組んできたことを支えに前に進めるよう、心から応援しています。

三重県教育委員会事務局 生徒指導課長 萬井 洋様

ご卒業おめでとうございます。皆さんの門出にあたり、iPS細胞の研究で有名な京都大学の山中伸弥教授の「おかげさま」という言葉を紹介したいと思います。

山中先生は、iPS細胞の研究をするにあたり、目に見える成果が得られず、成功するかどうかもわからない不安の中で、沢山の時間と労力をかけられました。決してあきらめず、苦勞の末、ついに研究が実を結んだ時、先生はこれまで支えてくれた方々に「おかげさま」と感謝の想いを伝えられました。

人は、何かを成し遂げた時、自分が努力をしたからだと思ってしまうものですが、山中先生は、「自分の努力の割合は実は少なく、周りの人の支えや助けがあつて初めて、物事は上手くいく」と仰っています。中学校を卒業し、これから沢山の新たな挑戦をしていく皆さんにも、陰から支えてくれる人や、見守ってくれる人がいるはずですよ。努力が実を結び成功した時こそ、これまで自分を支えてくれた人への感謝の想いを言葉で伝えてください。それは自らのさらなる成長につながるだけでなく、あなたの「おかげさま」という感謝の心が、あなたの周りの人の支えにもなることですよ。ぜひ、「おかげさま」という感謝の心を大切に、素敵な未来に向けて歩んでいてください。みなさんの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。祝いの言葉とさせていただきます。

# 中学卒業 おめでとう!

華のような笑顔が増える  
世の中にしたいと思っています

小笠原理事に  
乾杯のご発声を  
いただきました



第52回 中学を卒業する交通遺児を励ます集い  
公益財団法人 東海交通遺児を励ます会  
役員の方より卒業生に卒業祝金、お祝いの品、  
そしてお祝いの花が贈呈されました



テーブルマナー講座で習ったことを  
さっそく実践中!



役員の方とも  
沢山お話することができました!



四月からも勉強頑張ってるね!



すてきな「心の声」を  
聴かせてくれてありがとう^^



ご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます

当会は、国、地方自治体の補助を受けず、皆さまからの温かいご支援、ご寄付で、愛知県、岐阜県、三重県の交通遺児と保護者への支援活動を行っております。「社会福祉法人中日新聞社会事業団」様を通じてのご寄付をされる場合は「東海交通遺児を励ます会」とご指定ください。また、当会は平成24年7月に公益財団法人に認定され、ご寄付いただいた寄付金は、税制優遇の措置が受けられます。令和6年1月～4月にご寄付を賜りました。

皆さま方の温かいご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます。  
(敬称略・順不同)

団体

- RIDE運転代行利用者一同
- 株式会社アトミクス
- 愛知車輻輳株式会社
- 株式会社力ワグチ
- 有会社ビイトップス
- 一般社団法人名古屋住友クラブ
- 株式会社スーパージャンボ
- デンソークリエイト株式会社
- 中部日信電子株式会社
- 愛知県中古自動車販売商工組合
- 社会福祉法人中日新聞社会事業団
- 株式会社大黒屋仏壇店
- 全国共済農業協同組合連合会愛知県本部
- 株式会社真城ホールディングス
- 愛知スズキ労働組合
- 東洋樹脂株式会社
- 愛知日野自動車株式会社親和会
- 大和高速運輸株式会社共済会

個人

- 株式会社広報企画
- 太陽石油株式会社
- 株式会社アイピックス
- トヨタ車体労働組合
- デンソークリエイト社員クラブ
- キムラユニティー株式会社従業員一同
- 株式会社オークワ 東海事業所
- 株式会社日刊自動車新聞社 中部支社 (鈴木文章 一門全)
- 株式会社伍代
- 焼肉J-I-N
- 品川パーソナルトレーニング
- バルバテラス
- Premium stretch
- 九州水炊 笑時
- 植木パーソナルトレーニング
- 銀座美容クリニック
- 勝太のジム
- 岩月靖夫税理士事務所
- MIC パーソナルトレーニングジム
- 京都祇園 秋成
- 今村雄大
- アリエルバストクリニック
- マミー&マミー
- 天地崇彰
- ユタカ建築
- ルクラ
- オリンポス16闘神
- 藤原 光広・美舟
- 松尾 隆徳
- 水野 龍史
- 大塚 真加
- 大池八重子
- 野口 士葉
- 岡田 貴文
- 高木 修
- 兵藤 文男
- 吉野 雅山

お知らせ・行事案内

ふれあい懇親会(7月)(10月予定)

日常生活や子育て教育、進学など語り合いたいと思います。また、お子さま同伴、保護者のみでもご参加いただけます。

- ・令和6年7月27日(土)
- 【期限:令和6年7月20日メ切】

恵那保古グランピング1泊2日親子旅行

- ・令和6年8月17日(土)～18日(日)
- 【期限:令和6年6月30日メ切】

京都(伏見稲荷&太秦映画村)1泊2日親子(バス)旅行

- ・令和6年11月2日(土)～3日(日)
- 【期限:令和6年7月31日メ切】

第57回 交通遺児を励ます大会

小学校入学祝金贈呈(第一部式典にて贈呈いたします)

- ・令和6年12月22日(日)
- サイプレスガーデンホテル

第53回 中学を卒業する交通遺児を励ます集い

中学校卒業祝金贈呈(第一部式典にて贈呈いたします)

- ・令和7年3月16日(日)
- サイプレスガーデンホテル

現時点では開催を予定しておりますが、状況に応じて延期、中止とさせていただきます。皆さまにはご理解とご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

「祝金」申請時に、「交通事故証明書\*」が必要となります。\*コピー可

お願い

住所や氏名などの変更は、事務局までご連絡をお願いいたします。

発行・編集 公益財団法人東海交通遺児を励ます会  
名古屋市中区金山1-11-2 メイプル金山307号  
電話 052-682-9819 FAX 052-682-9865  
ホームページアドレス <https://www.tokai-kotsuiji.com/>  
発行責任者 会長 吉野 雅山 印刷 ニホン美術印刷株式会社